



デザイナーズパーツ Rコーピング スリム 165×13・185×13 200×13・240×13

- 取付される方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。
- 本製品は、安全に取付けるため専門業者様での施工をおすすめします。

■安全に関する記号と説明

▲ 警告

・施工を誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

▲ 注意

・施工を誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

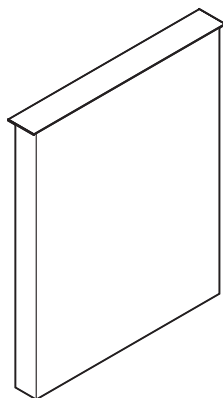
□ 施工の前に

▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

保管・施工前のお願い

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。製品に不具合があった場合、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 製品の反り・曲がり・キズ等の防止の為、以下事項を守ってください。
 - ・立てかけず。平らな場所に仮置きしてください。
 - ・製品の上に重量物を置かないでください。
- 製品を取付ける際、壁の天端にねじ穴・止水用でシーリングを塗布・充填します。シーリングは別途用意をお願いします。



□ 施工上のご注意

▲ 注意

- ねじは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。施工終了後も再度ボルト、ねじなどにゆるみがないか確認してください。製品の強度低下または、ケガのおそれがあります。
φ4ねじ: 1.5N・m±0.5N・m (15±5kgf・cm)
- 製品の改造は絶対しないでください。製品の強度低下または、ケガのおそれがあります。

施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 長い製品を取付ける場合は、2人以上で作業をしてください。

□ 電気配線工事について

▲ 警告

- DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。
- 防水コネクタを切断するなどの加工は行わないでください。故障・感電の原因になります。
- 施工作业中は通電させないでください。故障・感電の原因になります。

▲ 注意

- 別売りの当社製トランス電源ユニット・電源ケーブルと組み合わせて使用してください。他社の器具と接続すると火災・漏電の原因になります。

□ コンクリートブロック、ブロックへの施工について

▲ 注意

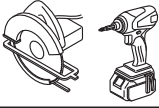


- 壁や塀の材料や種類により取付強度が異なります。コンクリートブロックC種(JIS A 5406 16)以上で施工してください。またブロックの空洞部にはあらかじめモルタルで養生を行い取付強度を確保してください。製品の落下のおそれがあります。

施工上のお願い

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系の強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因となります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因となります。
- コンクリート、ブロックの取付け面は下地強度と平らさを確保してください。豆板や塗り材などで著しい凹凸があると取付できなくなる場合があります。

施工前に準備いただくもの

※下記項目は施工前に必ずご準備ください。

作業台・仮置き場スペース	—
電動工具（切断機・インパクト・振動ドリル）	
シリコン系シーリング材（止水用と穴埋め用）	
脚立・足場材等	

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

	ページ	チェック内容	チェック欄
1	P4~P5	壁のサイズ・長さに対して切断加工は合っていますか？	<input type="checkbox"/>
2	P6	嵌合補助部材の向きは正し方向に取り付いていますか？	<input type="checkbox"/>
3	P7	正しいねじを使用して推奨トルクで取付け、緩みが無い事を確認しましたか？	<input type="checkbox"/>
4	P7	壁の天端にシーリング塗布やねじの下穴にシーリングを充填しましたか？	<input type="checkbox"/>
5	P8~P11	笠木カバー材は笠木ベース材に取付けられましたか？外れませんか？	<input type="checkbox"/>
6	P12~P15	笠木カバー材を取付ける前にシームレスラインライトの配線は完了していますか？	<input type="checkbox"/>

施工を始める前に

この取付説明書では、以下のような記号、記載を使用しています。

■情報に関する記号と説明

▲ 注意

- ・施工を誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

施工上のお願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

補足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

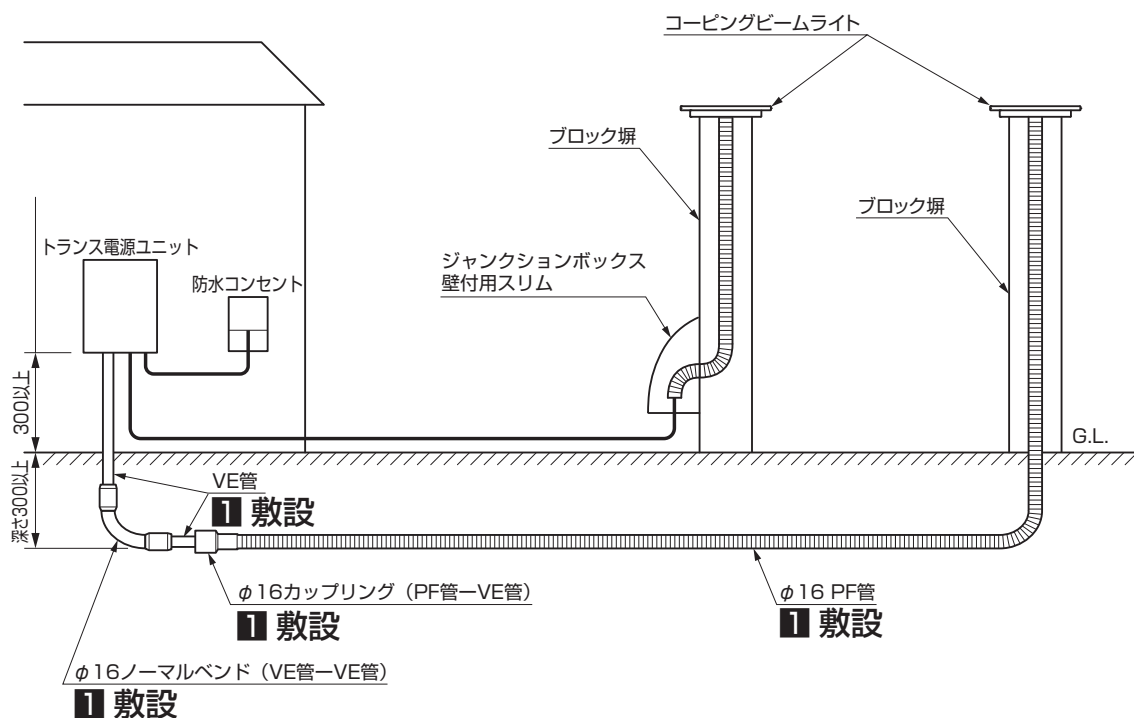
ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)
締結部品の種類は「**■ 梱包明細表**」を参照してください。

1 配線参考図

施工上のお願い

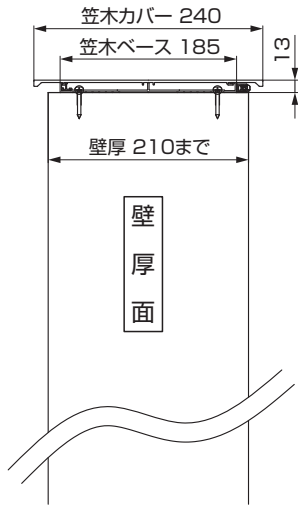
- 埋設管は必要な長さで切り落としてください。
- トランス電源ユニットの取付については、トランス電源ユニットに同梱されている取付説明書を参照してください。
- 壁に立ち上げるφ16PF管の位置は「**5-2**」PF管の引き出し」を参照して引き出してください。

1 現場に合わせて配管を敷設

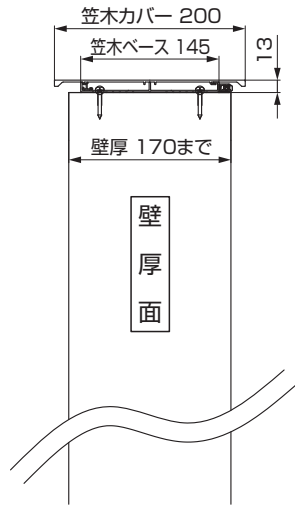


2 基本寸法図

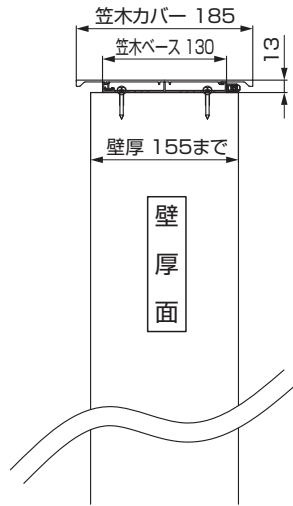
※壁厚、壁幅は推奨寸法です。



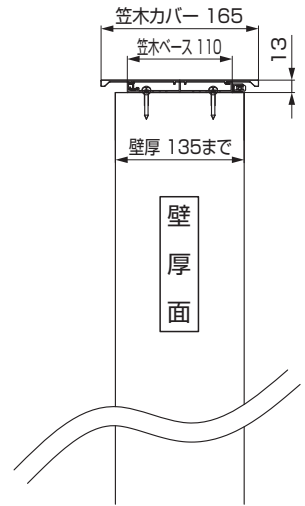
▲ 240×13の場合 ▲



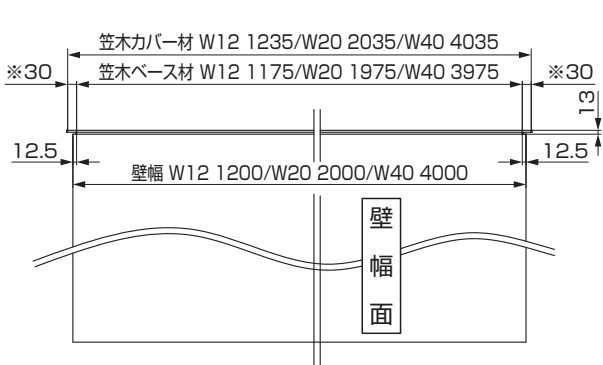
▲ 200×13の場合 ▲



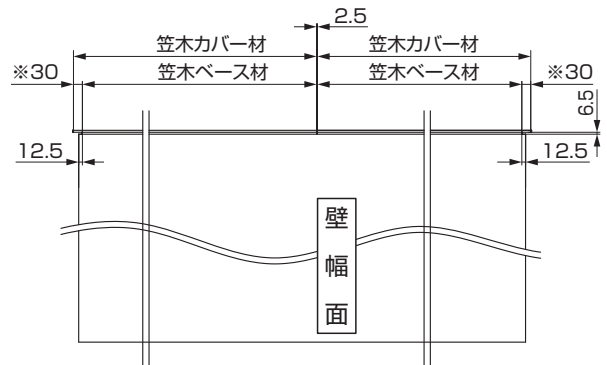
▲ 185×13の場合 ▲



▲ 165×13の場合 ▲

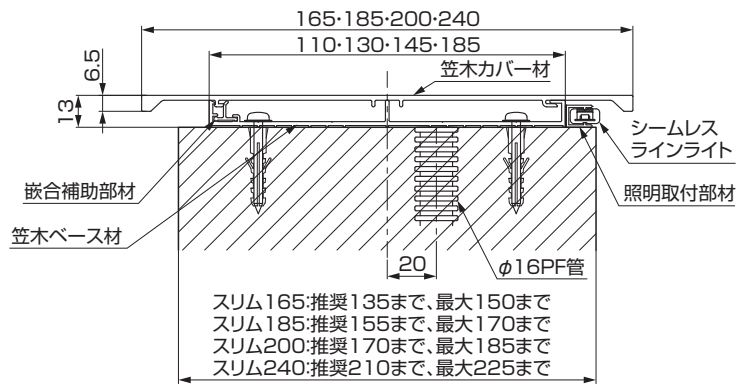


※ 笠木キャップの取付けに必要な寸法です。



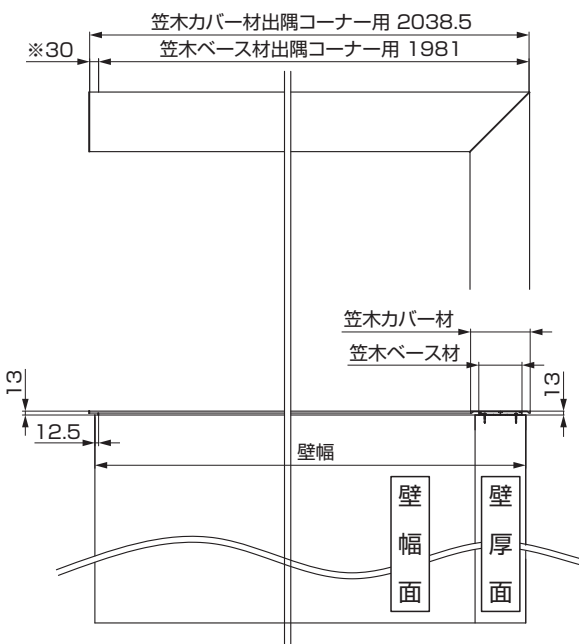
※ 笠木キャップの取付けに必要な寸法です。

▲ 笠木連結仕様の場合 ▲

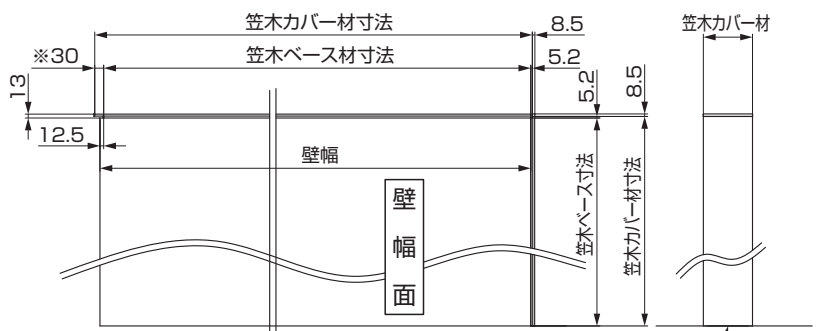


※ 図はスリム200 壁厚170mmの場合

▲ 照明仕様の場合 ▲



※ 笠木キャップの取付けに必要な寸法です。



笠木カバー・ベースはG.L.部に突き当て施工

※縦方向に照明器具を取付ける場合は、照明器具のみGLから50mm上げた位置にしてください。
(G.L.突き当て位置まで施工すると照明器具が雨水などで不具合を起こす場合があります。
またメンテナンスができなくなります。)

▲ 笠木コーナー仕様の場合 ▲

▲ 笠木角仕様の場合 ▲

3 部材の加工

3-1 部材の切断

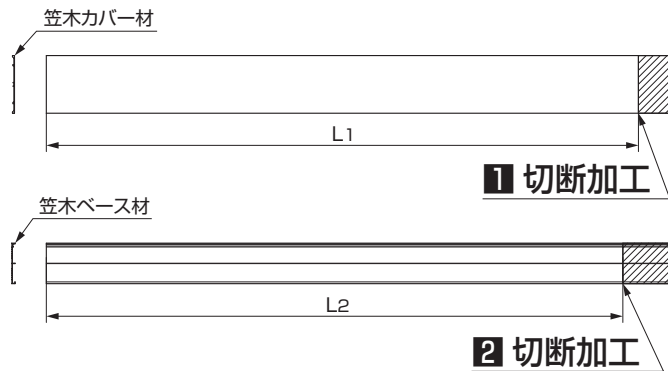
補足

- 壁幅(W)に組付ける場合の作業です。

- 1 笠木カバー材を切断寸法表にしたがって切断加工
- 2 笠木ベース材を切断寸法表にしたがって切断加工

施工上のお願い

- 笠木カバー材と笠木ベース材を同じ寸法に切断すると、笠木キャップの取付けができなくなります。



●切断寸法表

呼称	両端端部がキャップ納まり	片側が角キャップ納まり	両端が角キャップ納まり
笠木カバー L1	W+35	W+24	W+13
笠木ベース L2	W-25	W-12.5	W

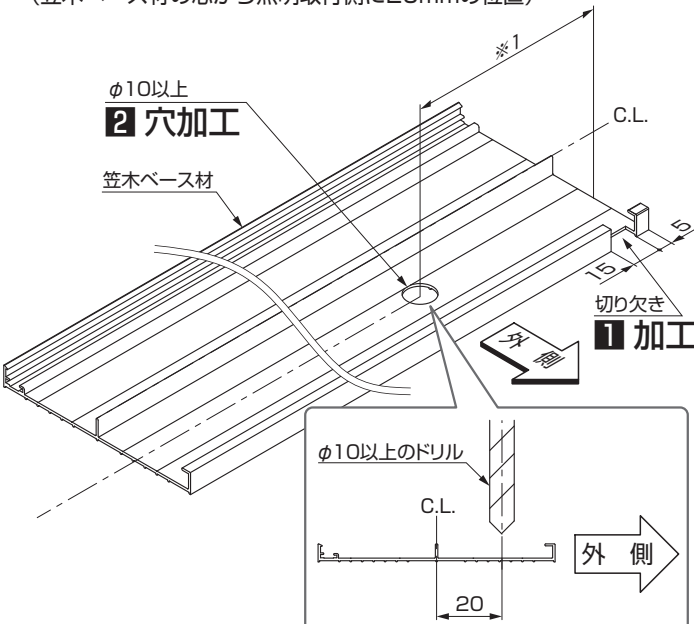
3-2 電源ケーブル引込孔の加工

3-2-1 照明(シームレスラインライトを取付ける場合)

施工上のお願い

- 必ず配線引込口側に加工をしてください。
- ※1の寸法は、「[5-2] PF管の引き出し」を確認してください。
- 笠木ベース材の切り欠き側を間違わないように加工してください。

- 1 笠木ベース材に照明用ケーブルを引き込む為の切り欠きを端部に加工(下記図参照)
- 2 笠木ベース材に電源ケーブルを引き出す為の穴加工($\phi 10$ 以上)(笠木ベース材の芯から照明取付側に20mmの位置)



4 本体の施工

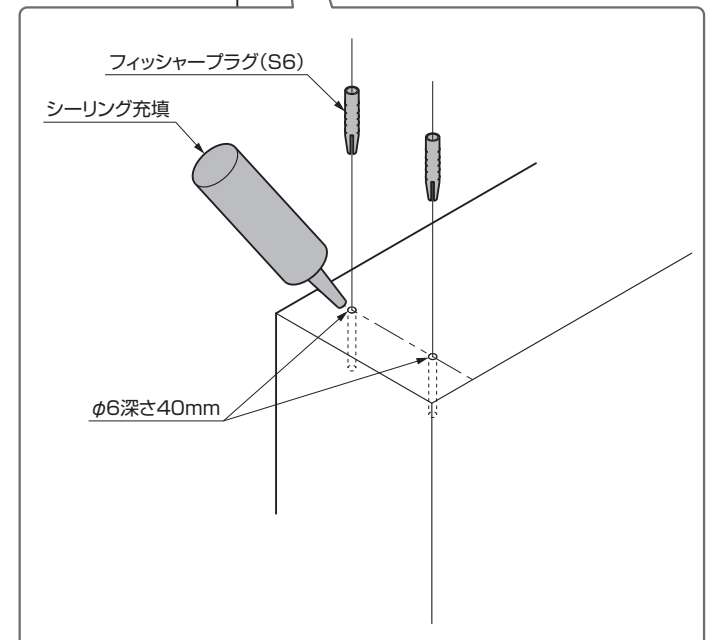
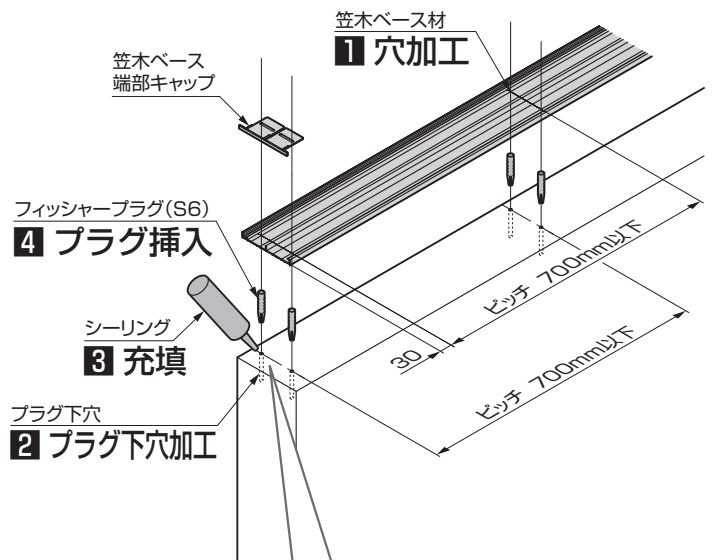
4-1 笠木本体

4-1-1 笠木ベース材取付け穴加工と壁天端への下穴あけ

施工上のお願い

- 取付けねじ・プラグは、同梱されていますが壁下地にあった固定方法を現場で判断して選択してください。
- 笠木ベース端部キャップを取付ける場合、笠木ベース材と一緒に取付けねじを共締めします。取付ねじの下穴加工や壁下地に下穴をあける場合、壁の配筋を避けてしっかり固定できる位置を確認して壁の穴加工・笠木ベース材の取付穴の加工をしてください。
- 笠木ベース材に取付け穴をあける際、端部に笠木ベース端部キャップを合わせてから、下穴の加工をしてください。
- 笠木ベース材に取付け穴を加工する場合は、平らな作業台の上で取付穴をあけてください。

- 1 笠木ベース材に取付け穴 $\phi 5.5$ mmの穴加工(ピッチ 700mm以下)
- 2 壁の天端(笠木設置面)に笠木ベース材を乗せ、設置位置に合わせてプラグの下穴 $\phi 6$ mmの位置をケガキ、下穴加工
- 3 プラグ下穴にシーリングを充填
- 4 フィッシャープラグ(S6)を壁の天端にあけた下穴に挿入



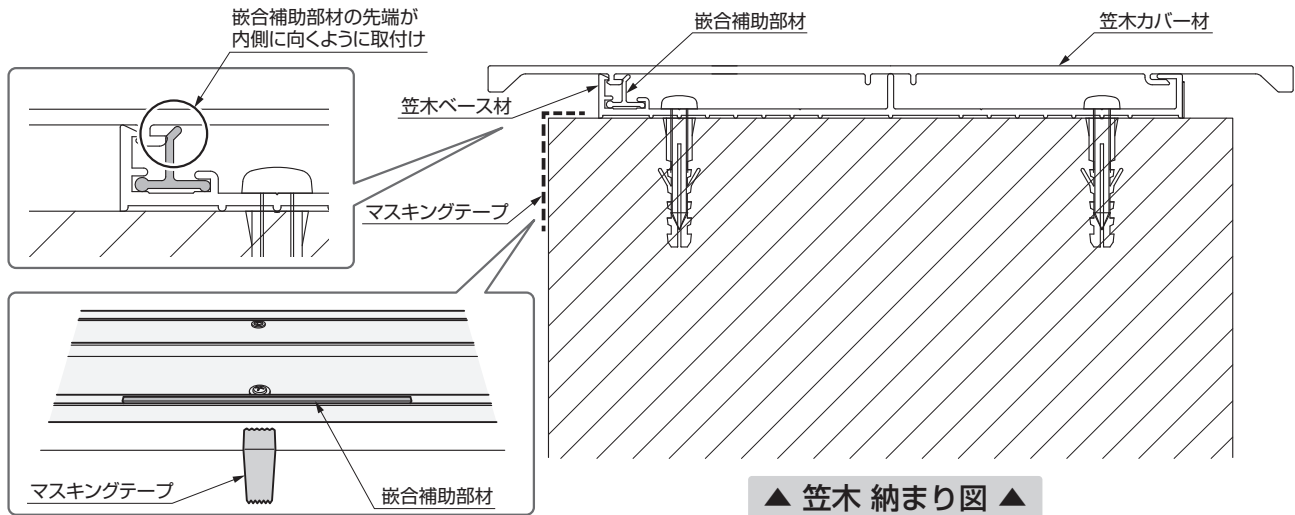
4 本体の施工

4-1 笠木本体

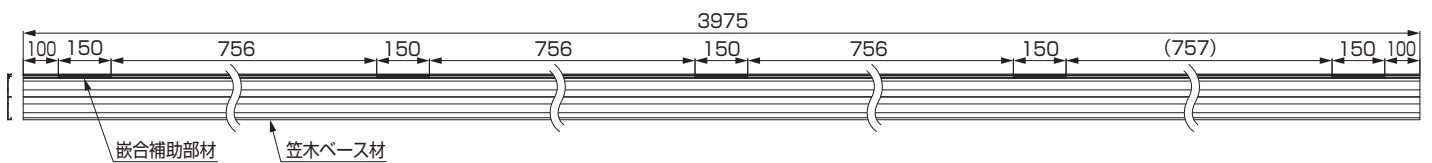
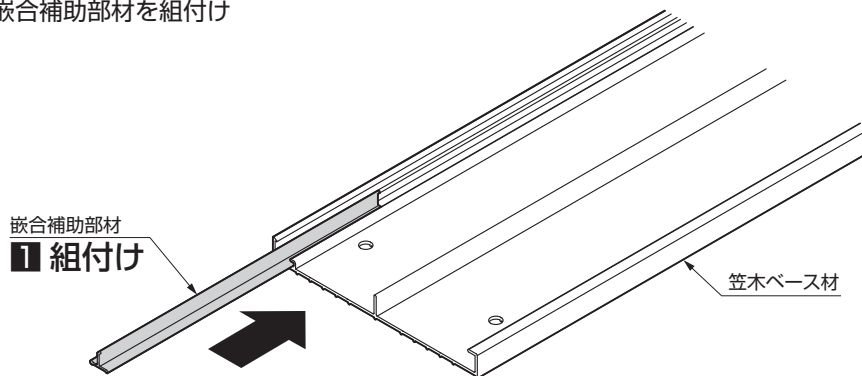
4-1-2 嵌合補助部材の取付と位置設定

施工上のお願い

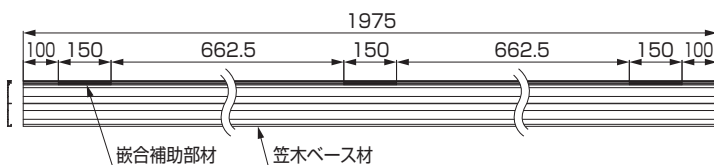
- 嵌合補助部材を笠木ベース材に組み付ける際、嵌合補助部材の向きを図のようにしてください。向きを間違えると、笠木カバー材と嵌合できません。
- 嵌合補助部材を組付けた際に、嵌合補助部材の位置がわかるように壁の側面にマスキングテープなどを貼ってください。



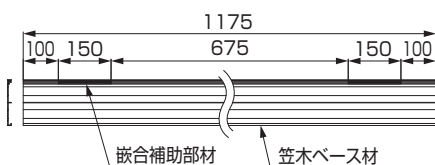
1 笠木ベース材に嵌合補助部材を組付け



▲ 嵌合補助部材数量 5個 ▲



▲ 嵌合補助部材数量 3個 ▲



▲ 嵌合補助部材数量 2個 ▲

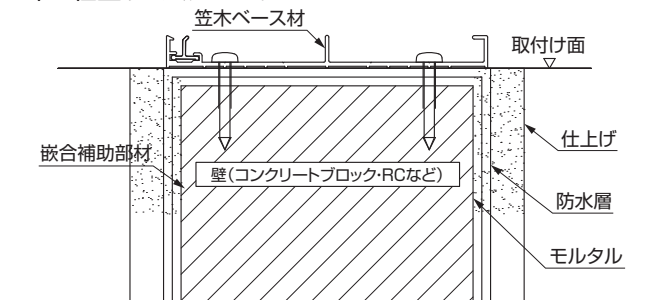
4 本体の施工

4-1 笠木本体

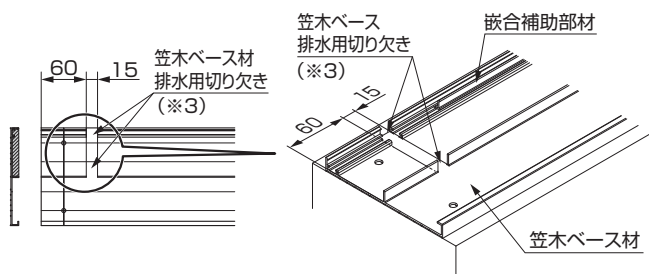
4-1-3 笠木ベース材の取付け

施工上のお願

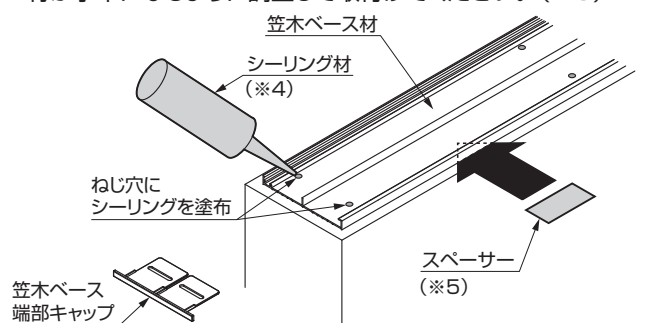
- 壁内への雨水浸入に繋がりますので必ず下記を実施してください。
※壁天端・取付け面にも下地・防水層の処理を必ず実施してください。
※仕上げ材は壁天端・取付け面の高さを超えないようにしてください。
※壁天端の不陸は、雨水の浸入に繋がりますので、できるだけ平に仕上げてください。



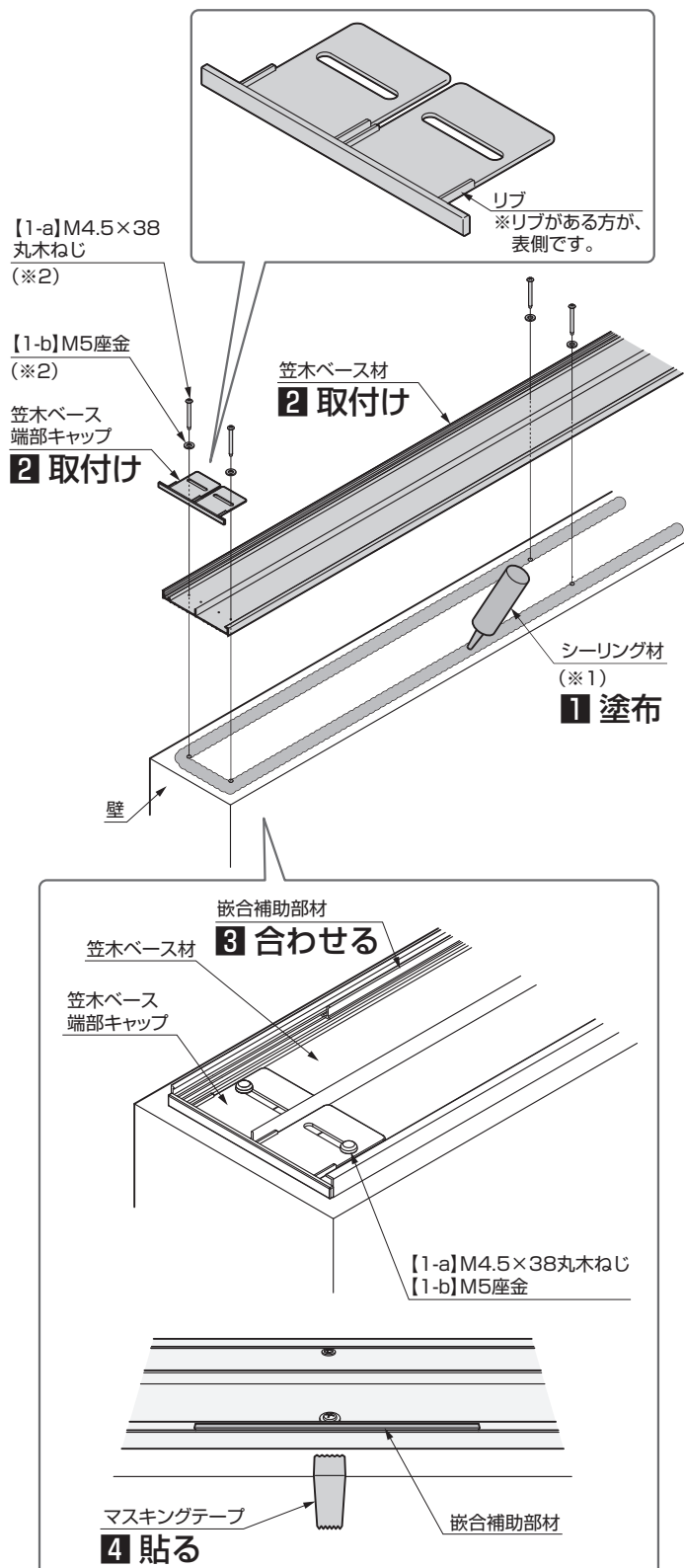
- 取付け面とのすき間を埋めるため、笠木ベース材の底面の外周部にシーリングを塗布してください。(※1)
- 壁の天面に不陸が出ないように仕上げてください。
- 取付ねじ・プラグは付属部品です。壁の構造にあった取付方法を現場判断で選択してください。(※2)
- 連結やコーナーの納まりで笠木ベース材への雨水の侵入が気になる場合は端部から60mm(笠木ベース端部キャップに重ならない位置)に、笠木ベース材の中央のリブと嵌合補助部材側の嵌合部に、下図を参照して排水用の切り欠き加工を15mmしてください。(※3)
切り欠き加工した部分は、ヤスリ等でバリを取り除いて滑らかに仕上げてください。



- シーリング材が笠木ベース材からはみ出さないように壁の天端に塗布してください。
・シーリングが笠木ベース材よりはみ出した場合は拭き取ってください。
・シーリングが笠木ベース材に付着した場合はパーツクリーナー等で拭き取ってください。
- ねじを取付ける前にねじ穴にシーリング材を充填してからねじを取付けてください。(※4)
- 壁天端の不陸が大きく笠木ベース材が水平に取り付けられない場合は笠木ベース材の下側にスペーサーを入れて笠木ベース材が水平になるように調整して取付けてください。(※5)



- 1 壁にシーリングを塗布
- 2 笠木ベース材端部に笠木ベース端部キャップを重ねて、【1-a】【1-b】で壁に取付け
- 3 笠木ベース材を取付けたら、前ページの嵌合補助部材の取付けを参照して、嵌合補助部材の位置に合わせる
- 4 嵌合補助部材を位置に合わせたら、笠木を嵌め込む時に嵌合補助部材に位置がわかるように、合わせた位置にマスキングテープを壁に貼る



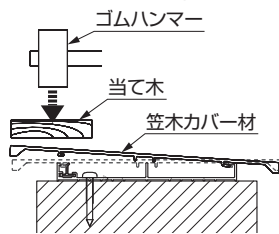
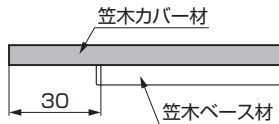
4 本体の施工

4-1 笠木本体

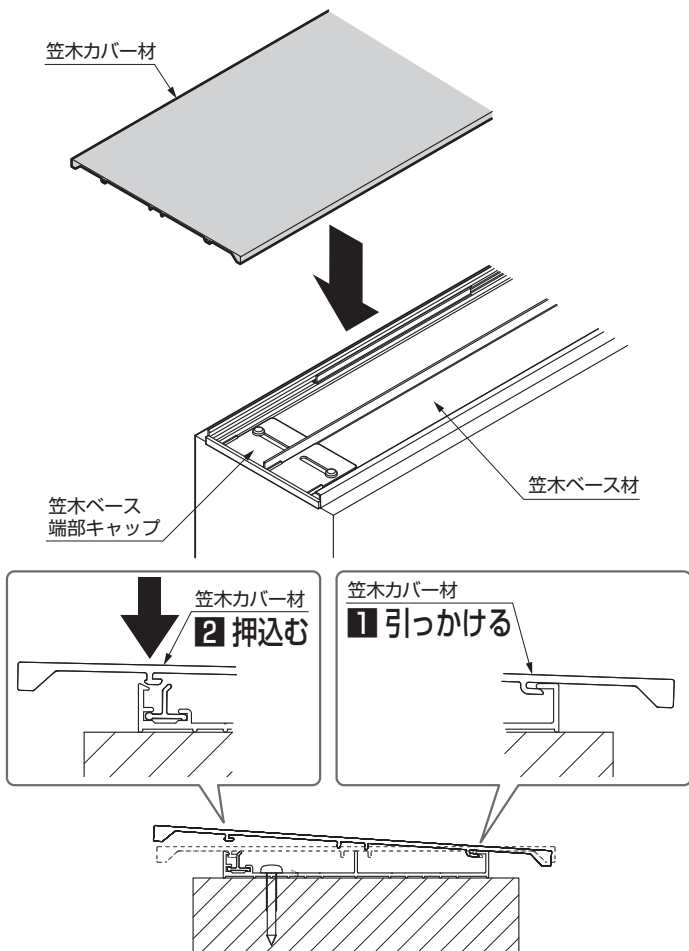
4-1-4 笠木カバー材の取付け

施工上のお願い

- 笠木カバー材のはめ込み方法は下部に記載されている【笠木カバー材の取付け方法】を確認してください。
- 笠木カバー材は笠木ベース材より30mm出るようにはめ込んでください。笠木キャップが取付かなくなります。笠木カバー材の両端が30mm長い設定になっています。
- 笠木カバー材は、あまり角度を付けないで笠木ベース材に引っかけてください。
- 笠木カバー材から「カチ」音がしたら笠木カバー材は笠木ベース材に取付けられています。
- 笠木カバー材を取付ける際、嵌合補助部材の位置がわかるように壁にマスキングテープなどでマーキングしてから笠木カバー材を取付けてください。
- 笠木カバー材の嵌め込みがきつく、嵌め込みづらい場合は、笠木カバー材の上に当て木をして嵌合補助部材の位置からゴムハンマー等で、叩いて笠木カバー材を嵌め込んでください。
- 笠木カバーを叩いても嵌合がきつい場合は嵌合補助部材を半分の長さに切断して再度笠木ベース材に組付けて笠木カバー材を嵌め込んでください。(切断した嵌合補助部材は、全て笠木ベース材に振り分けて組付けてください。)



- 1 笠木カバー材を笠木ベース材に引っかける
- 2 笠木カバー材を笠木ベース材と嵌合補助部材の間に押し込む

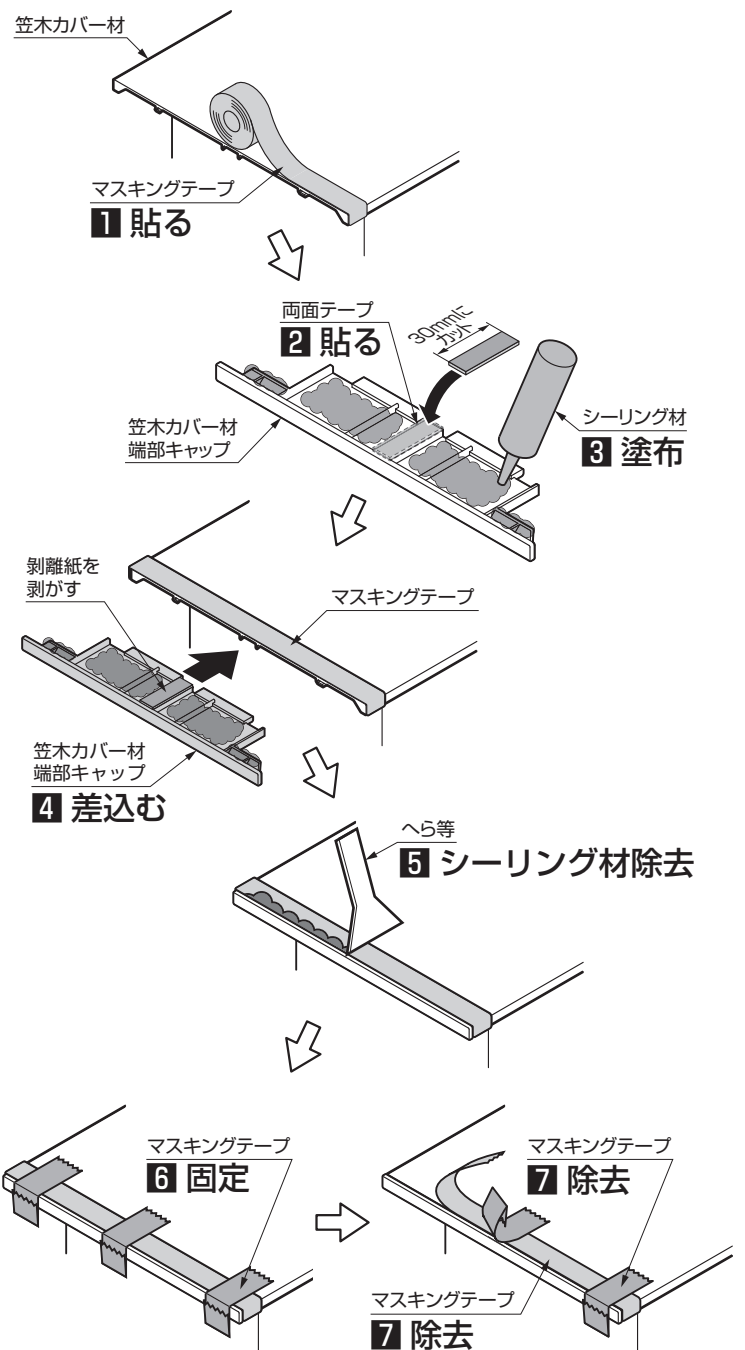


4-1-5 端部キャップの取付け

施工上のお願い

- はみ出したシーリング材は、きれいにふき取ってください。
- キャップが固定されるまで動かないようにマスキングテープなどでおさえてください。

- 1 マスキングテープを笠木カバー材端部に貼る
- 2 笠木カバー材端部キャップの中心部分に両面テープを貼る
- 3 笠木カバー材に貼った両面テープの剥離紙を剥がし、シーリング材を笠木カバー材端部キャップに多めに塗布
- 4 笠木カバー材端部キャップを少し斜めに傾けて笠木カバー材に差し込む
- 5 はみ出したシーリング材をヘラ等で除去
- 6 シーリング材が固まるまで、笠木カバーと端部キャップをマスキングテープで左右と真中に貼り固定
- 7 シーリング材が固まったら、マスキングテープを除去



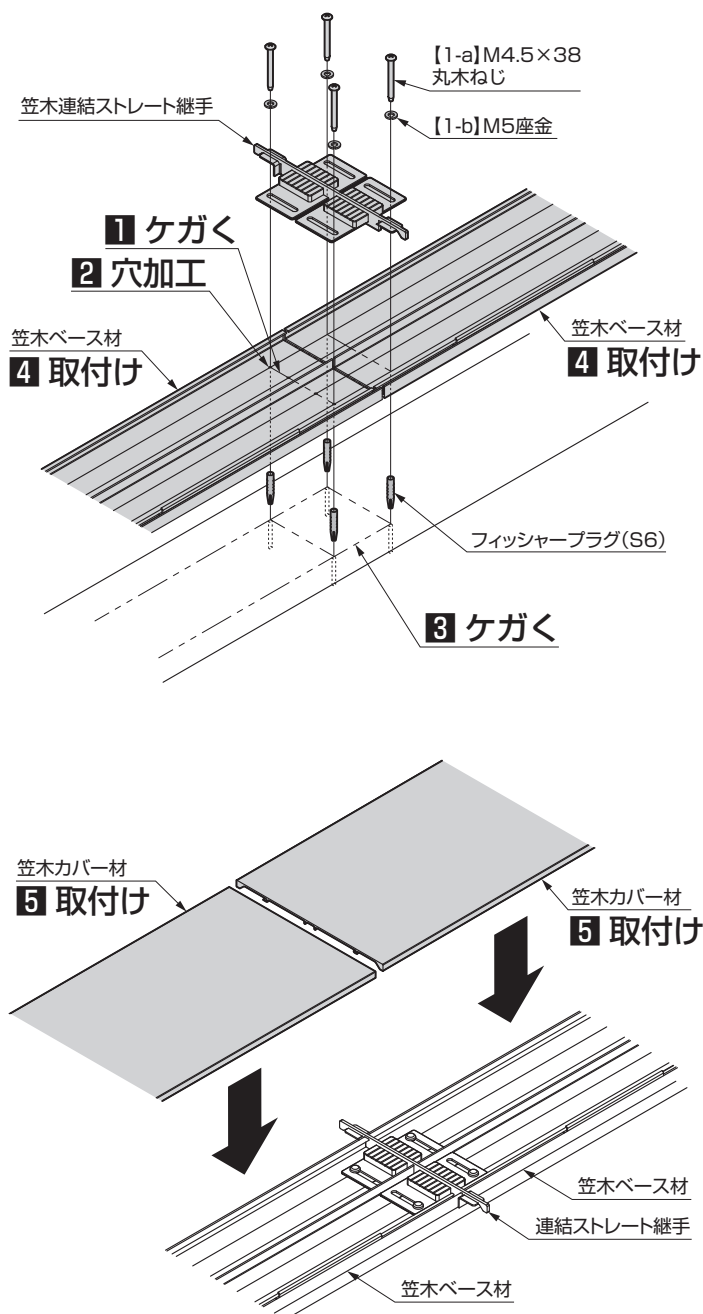
4 本体の施工

4-2 笠木連結ストレート継手

施工上のお願い

- 笠木ベース材に取付け穴を加工する場合は、平らな作業台の上で取付け穴をあけてください。

- 1 笠木ベース材の連結する側に笠木連結ストレート継手を仮置きして笠木ベース材にポンチ等で取付け穴をケガく（笠木連結ストレート継手は、笠木ベース材と共締めになります。）
- 2 笠木ベース材に取付け穴φ5.5mmの穴加工
- 3 壁天面に笠木ベース材を取付ける穴の位置をケガく
- 4 壁天面にφ6mmの穴をあけて、フィッシャープラグ(S6)を挿入して笠木ベース材を【1-a】【1-b】で取付け（プラグや笠木ベース材やねじ頭にシーリングを塗布・充填する作業）があるので、前のページを参照して作業をおこなってください。
- 5 笠木カバー材を取付け
取付け方は、前のページを参照して作業をおこなってください。

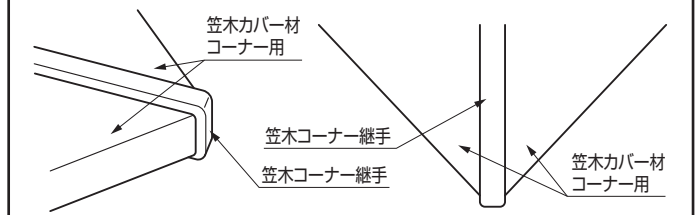


4-3 笠木コーナー継手

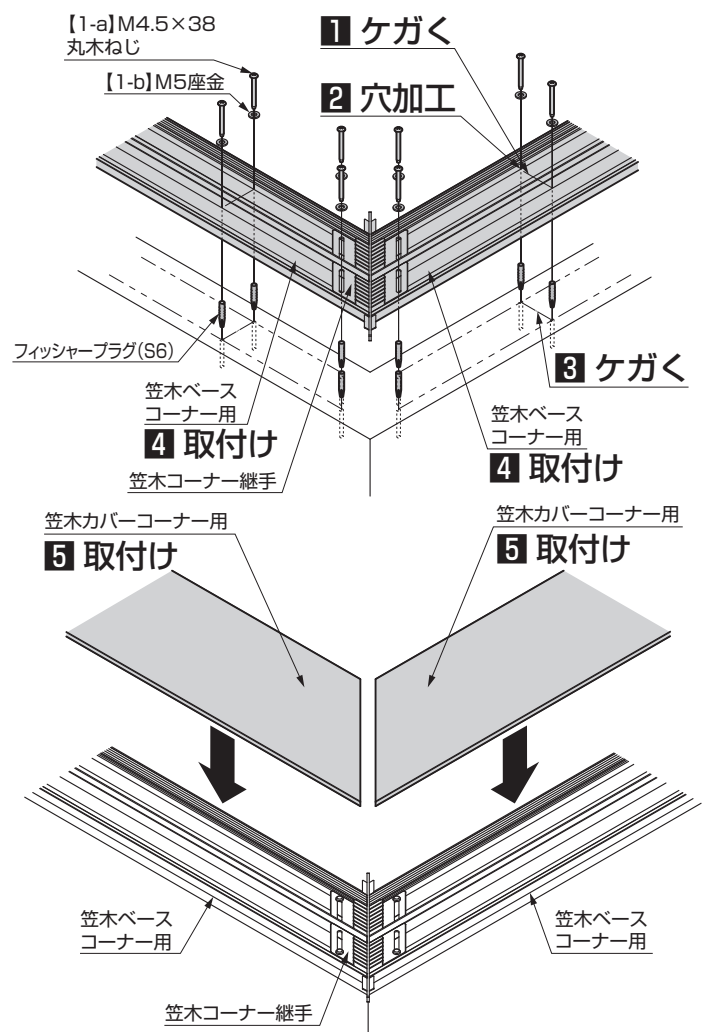
施工上のお願い

- 笠木ベース材に取付け穴を加工する場合は、平らな作業台の上で取付け穴をあけてください。

- 笠木カバー材に笠木コーナー継手を取付けた後に、笠木カバー材を仮にコーナー部を合わせて、笠木コーナー継手から笠木カバー材の小口がはみ出さないか確認してから、笠木カバー材を嵌め込んで取付けてください。笠木カバー材の小口が笠木コーナー継手よりはみ出す場合は、笠木コーナー継手を取付けているネジを緩めて調整し、笠木カバー材の小口がはみ出さないように取付け直してください。



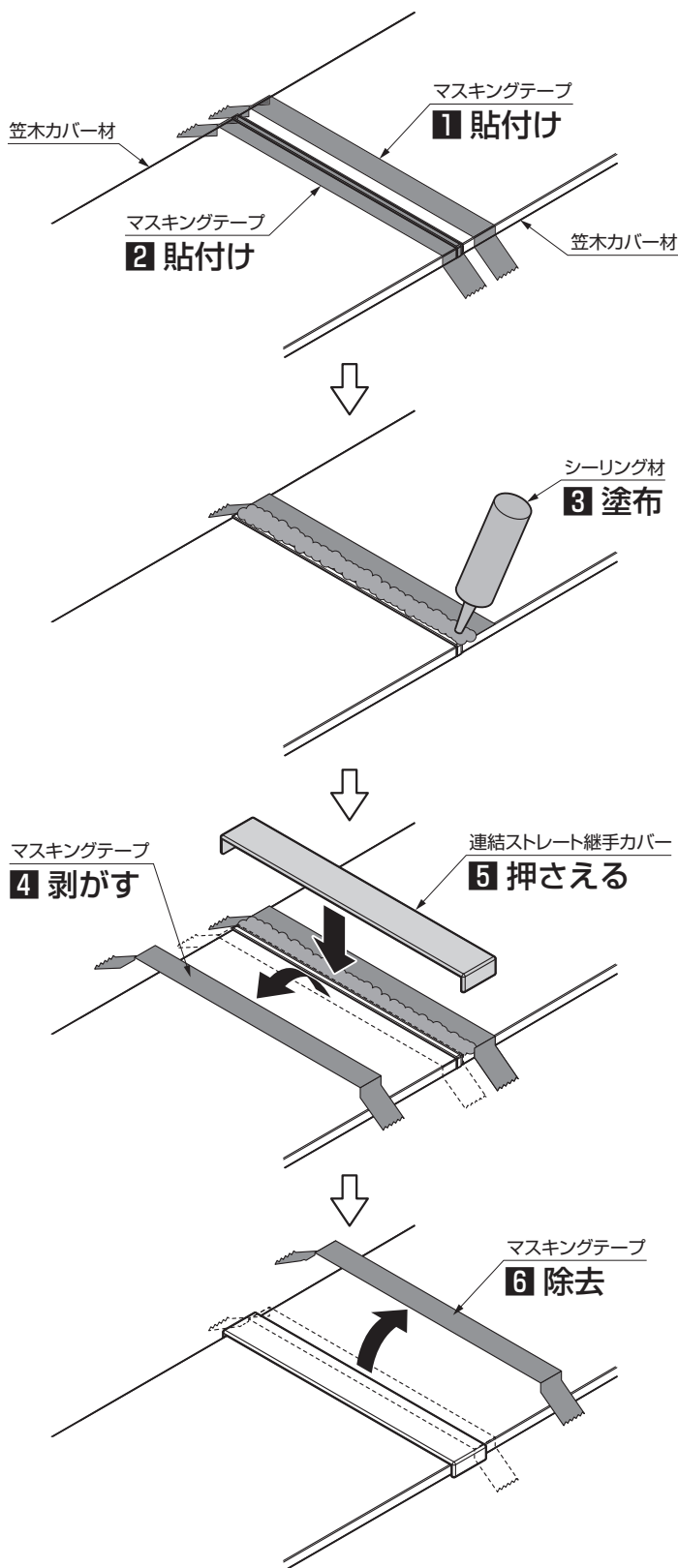
- 1 笠木ベース材のコーナー側同士に笠木コーナー継手を仮置きして笠木ベース材にポンチ等で取付け穴をケガく（笠木コーナー継手は笠木ベース材と共締めになります）
- 2 笠木ベース材に取付け穴φ5.5mmの穴加工
- 3 壁天面に笠木ベース材を取付ける穴の位置をケガく
- 4 壁天面にφ6mmの穴をあけて、フィッシャープラグ(S6)を挿入して笠木ベースコーナー用を【1-a】【1-b】で取付け（プラグや笠木ベース材やねじ頭にシーリングを塗布・充填する作業）があるので、前のページを参照して作業をおこなってください。
- 5 笠木カバーコーナー用を取付け
取付け方は、前のページを参照して作業をおこなってください。



4 本体の施工

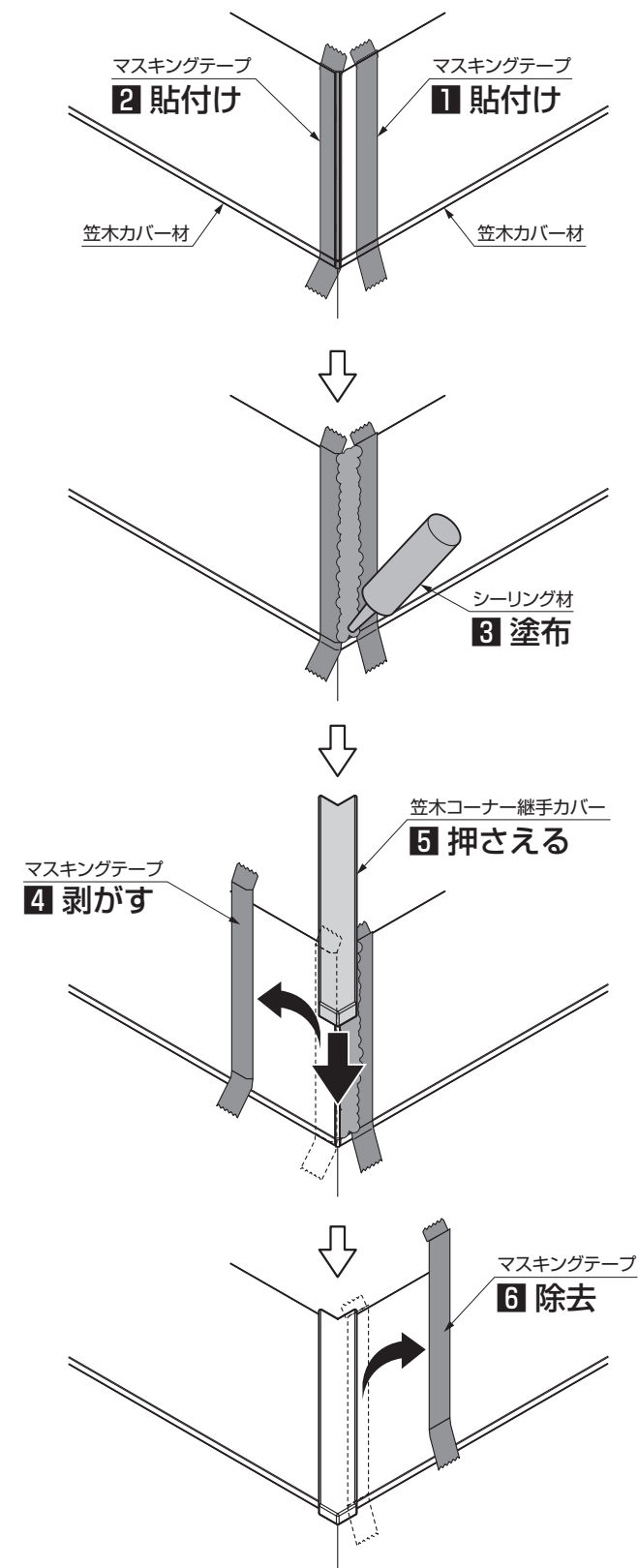
4-4 連結ストレート継手カバー オプション

- 1 連結部分の笠木カバー材の片側に、連結ストレート継手カバーの幅の半分の位置を目安にマスキングテープを貼付け
- 2 連結ストレート継手の上にマスキングテープを貼付け
- 3 2枚のマスキングテープの間にシーリング材を塗布
- 4 連結ストレート継手の上に貼ったマスキングテープを剥がす
- 5 連結ストレート継手カバーを笠木カバー材の上に載せ、手で押さえる
(シーリング材がカバーからはみ出した場合は、拭き取ってください。)
- 6 シーリング材が固まったら、マスキングテープを除去



4-5 笠木コーナー継手カバー オプション

- 1 コーナー連結部分の笠木カバー材の片側に、笠木コーナー継手カバーの幅の半分の位置を目安にマスキングテープを貼付け
- 2 コーナー継手の上にマスキングテープを貼付け
- 3 2枚のマスキングテープの間にシーリング材を塗布
- 4 笠木コーナー継手の上に貼ったマスキングテープを剥がす
- 5 笠木コーナー継手カバーを笠木カバー材の上に載せ、手で押さえる
(シーリング材がカバーからはみ出した場合は、拭き取ってください。)
- 6 シーリング材が固まったら、マスキングテープを除去



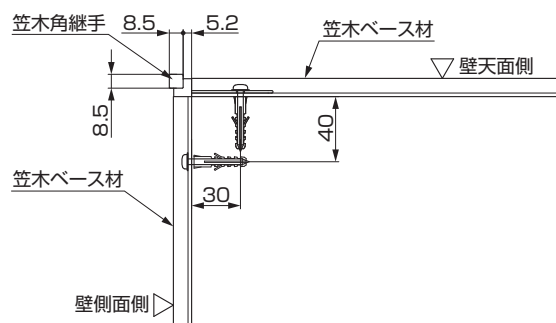
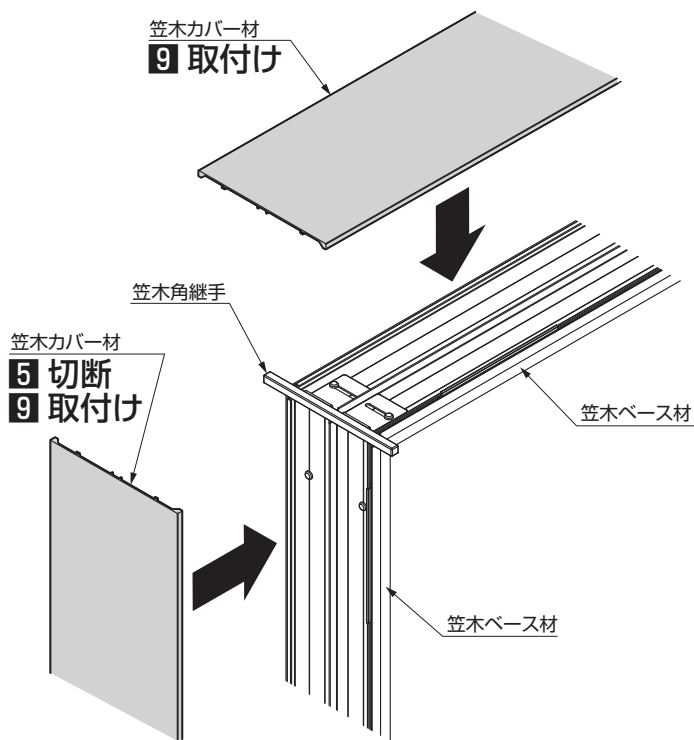
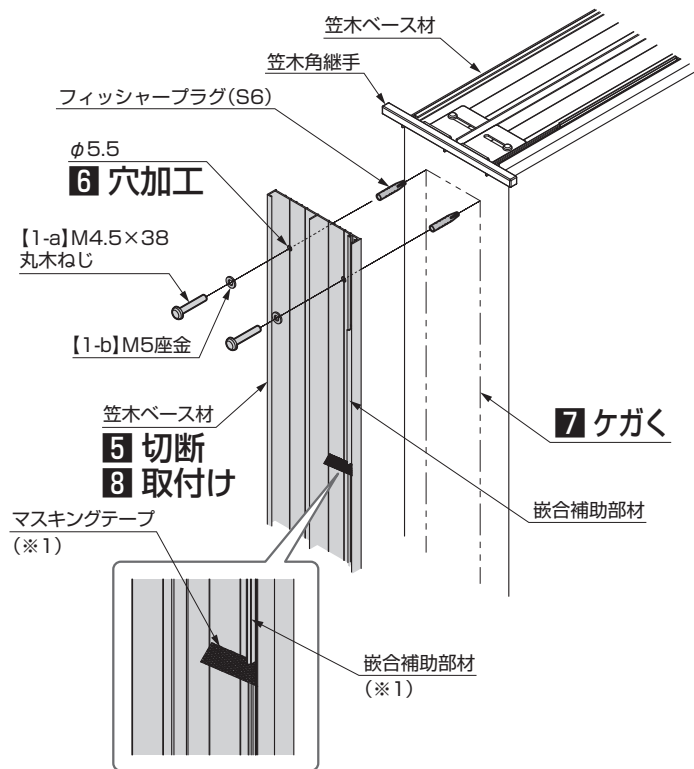
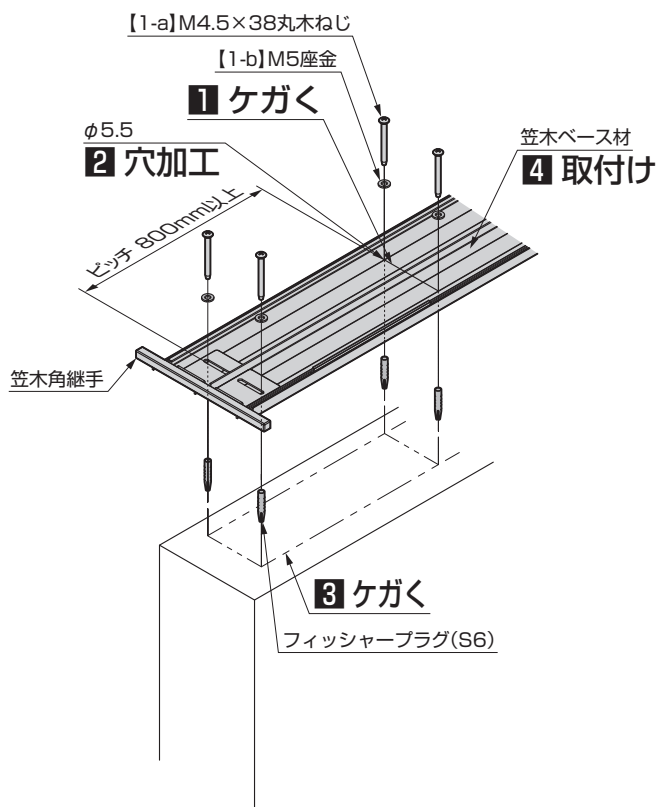
4 本体の施工

4-6 笠木角継手

施工上のお願い

- 笠木ベース材に取付け穴を加工する場合は、平らな作業台の上で取付け穴をあけてください。
(壁側面側に取付ける笠木ベース材の上端部側にあける穴位置は、壁天面側の穴位置と同じにしないでください。取付ねじが当たり取付られません)
- 壁の側面に笠木ベース材を取付ける際、嵌合補助部材が下がらないようにマスキングテープ等で仮固定してください。
(※1)
- 壁の側面側に笠木カバー材を笠木ベース材にはめ込んだら、笠木カバー材が下がらないように、笠木カバー材の下側にねじを取付けて下がらないようにしてください。

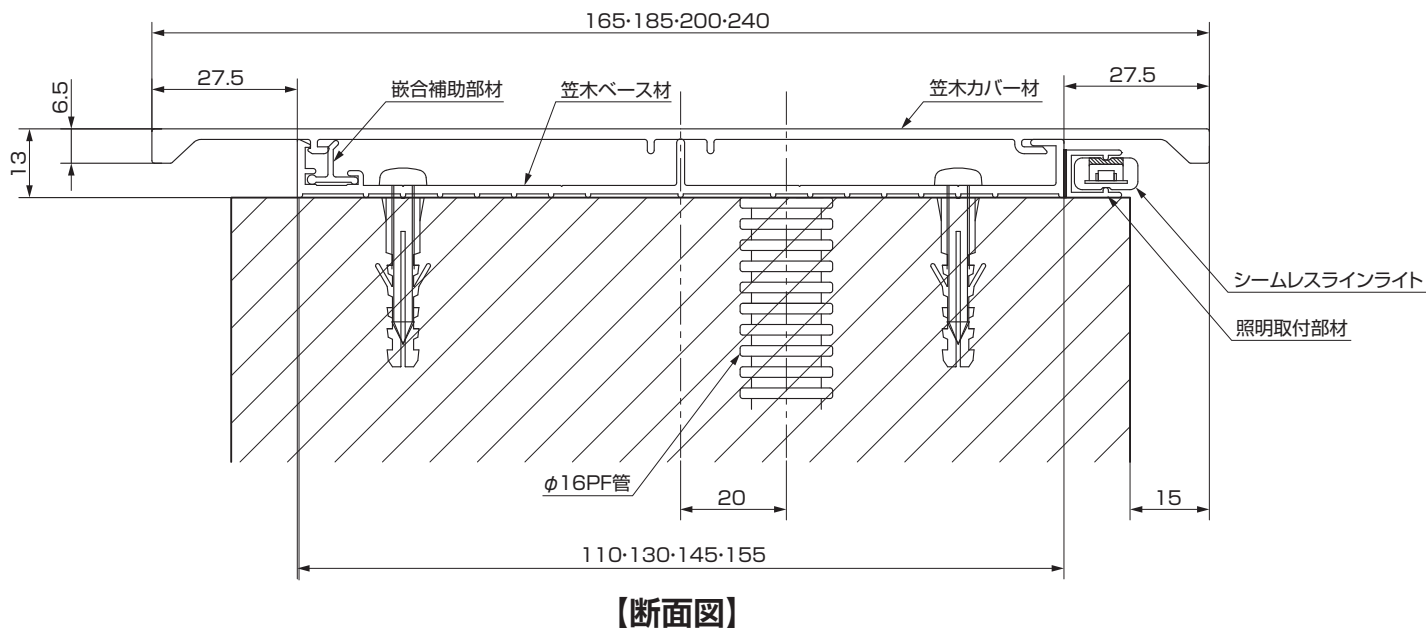
- 1 壁天面側の笠木ベース材の角側に笠木角継手を仮置きして笠木ベース材にポンチ等で取付け穴をケガく
(笠木角継手は、壁天面側の笠木ベース材と共締めになります)
- 2 笠木ベース材に取付け穴φ5.5mmの穴加工
- 3 壁天面に笠木ベース材を取付ける穴の位置をケガく
- 4 壁天面にφ6mmの穴をあけて、フィッシャープラグ(S6)を挿入して笠木ベース材を【1-a】【1-b】で取付け
(プラグや笠木ベース材やねじ挿入穴にシーリングを塗布・充填する作業)があるので、前のページを参照して作業をおこなってください。
- 5 壁側面側に取付ける笠木ベース材や笠木カバー材の下端位置を決めて長さを切断(G.L.から袖壁の天端までか、G.L.より下納まり)
- 6 笠木ベース材の取付ける位置を決めたら、笠木ベース材にφ5.5mmの穴加工
- 7 笠木角継手に笠木ベース材の端部を合わせて、壁側面側に笠木ベース材を取付ける穴をケガく
- 8 壁側面側にφ6mmの穴をあけて、フィッシャープラグ(S6)を挿入して笠木ベース材を【1-a】【1-b】で取付け
- 9 前のページを参照して、笠木カバー材を取付け



▲ 笠木角継手 納まり図 ▲

5 照明取付部材の取付け

5-1 基本構造

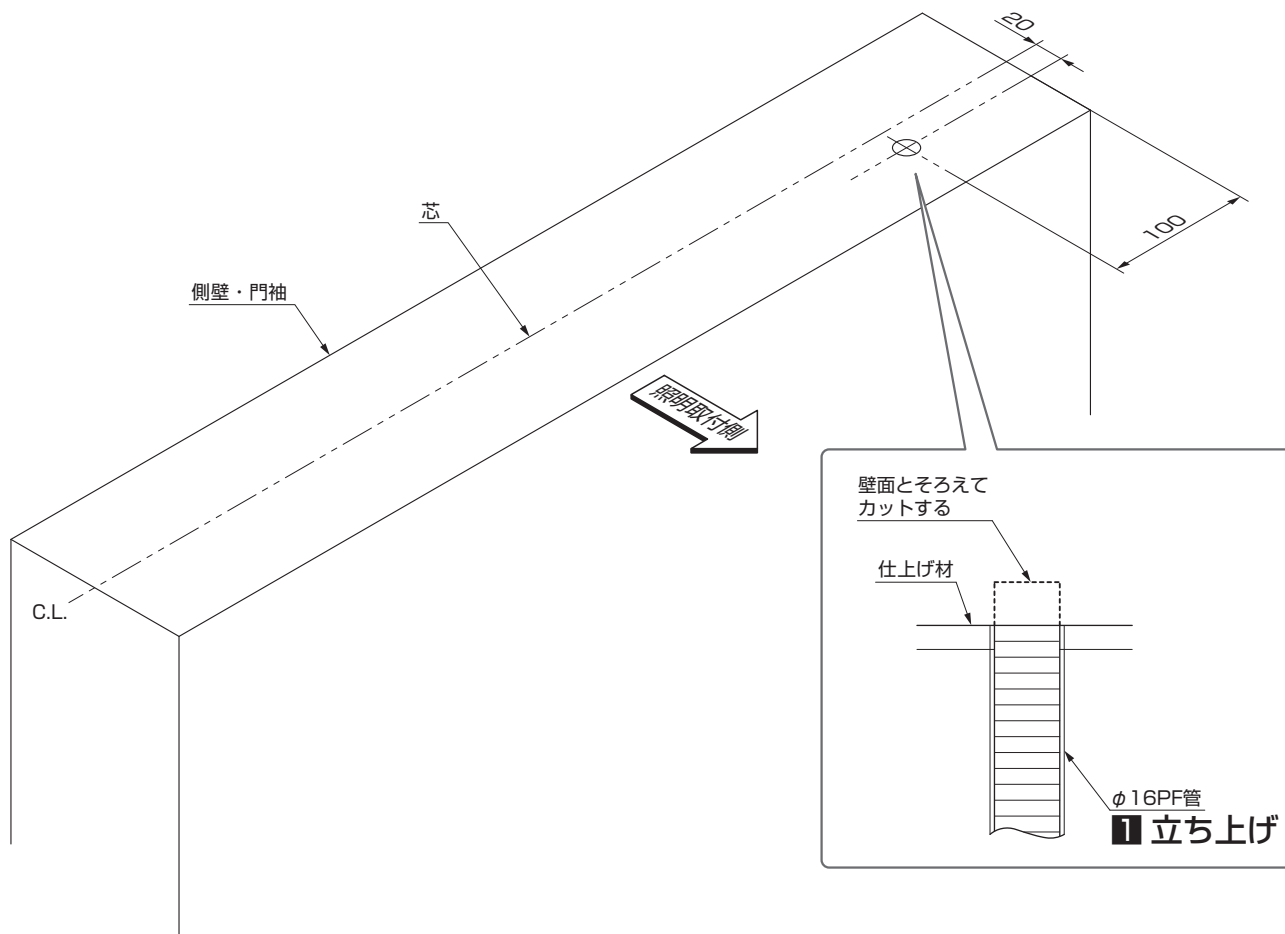


5-2 PF管の引き出し

施工上のお願い

●PF管は指定寸法の位置に立ち上げてください。誤った場所に立ち上げると電源ケーブルの引込みが難しくなります。

1 側壁・門袖の芯から20mm照明取付側にPF管を立ち上げ



5 照明取付部材の取付け

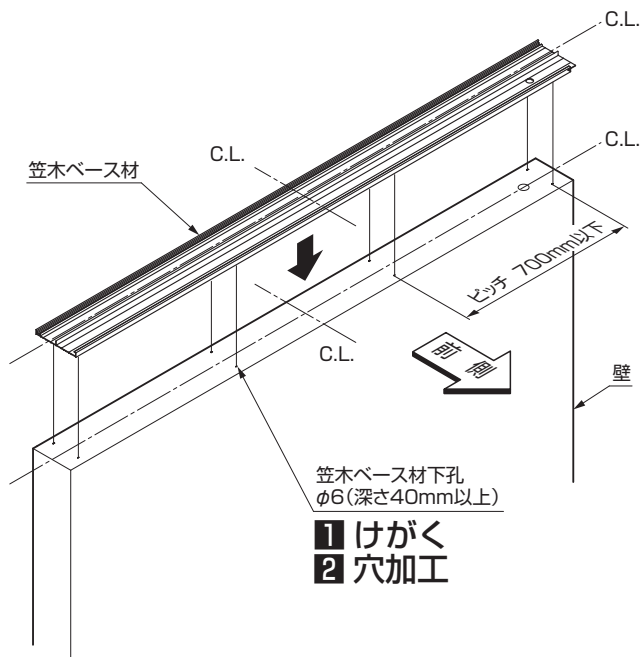
5-3 笠木ベース材の取付け

5-3-1 笠木ベース材取付用下孔の加工

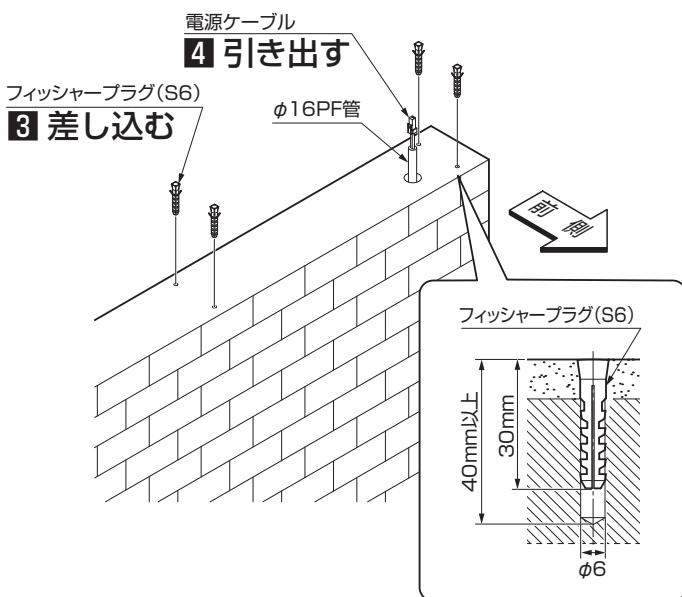
施工上のお願い

- 笠木ベース材の中心と壁の中心が合うように下孔の位置だしをしてください。

- 1 笠木ベース材と門袖の中心位置を合せた上で、笠木ベース材の下孔位置を決めて、位置だしのためにけがく
- 2 壁の天面に笠木ベース材取付け用の下孔、φ6の穴加工（深さ40mm以上）
- 3 笠木ベース材下孔にフィッシャープラグ(S6)を差し込む
- 4 電源ケーブルを通線ワイヤーを使ってφ16PF管から引き出す



▲ 笠木ベース材下孔の位置だし ▲

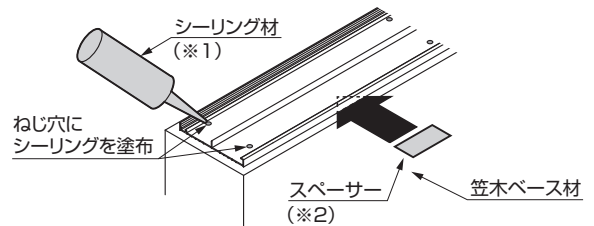


▲ フィッシャープラグの取付け ▲

5-3-2 笠木ベース材の取付け

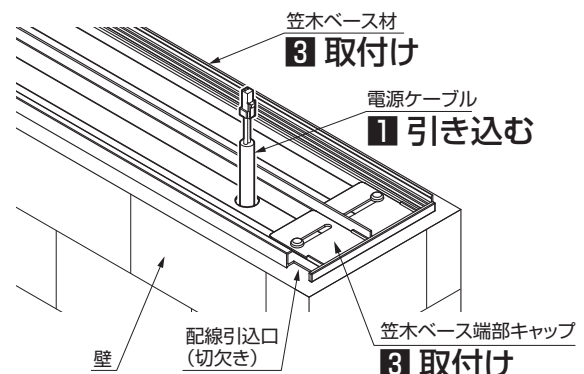
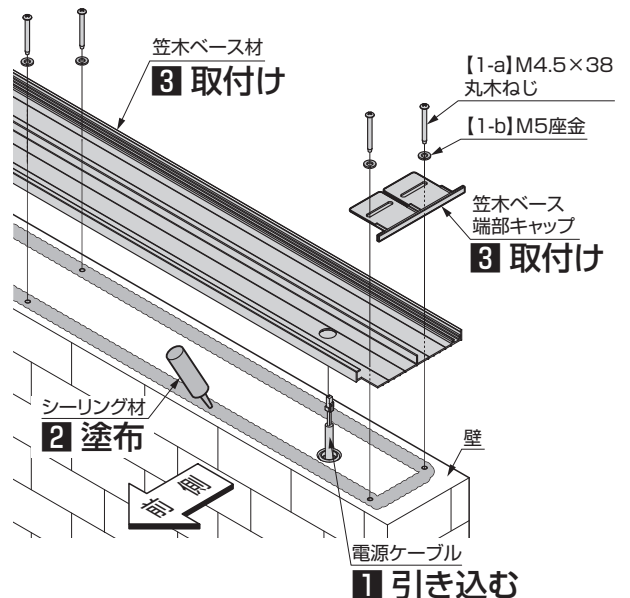
施工上のお願い

- シーリング材が笠木ベース材からはみ出さないように壁の天端に塗布してください。
 - ・ シーリングが笠木ベース材よりはみ出した場合は拭き取ってください。
 - ・ シーリングが笠木ベース材に付着した場合はパーツクリーナー等で拭き取ってください。
- ねじを取付ける前にねじ穴にシーリング材を充填してからねじを取付けてください。(※1)
- 壁天端の不陸が大きく笠木ベース材が水平に取り付けられない場合は笠木ベース材の下側にスペーサーを入れて笠木ベース材が水平になるように調整して取付けてください。(※2)



- 笠木ベース材の取付け前に嵌合補助部材の取付け・方向が間違っていないか確認してください。
- 嵌合補助部材の取付ける数量は合っているかの確認してください。
- 嵌合補助部材の位置がわかるように、壁にマスキングテープ等を貼ってあるか確認してください。

- 1 電源ケーブルを笠木ベース材に引き込む
- 2 壁にシーリングを塗布
- 3 笠木ベース材端部に笠木ベースキャップを重ねて、【1-a】【1-b】で壁に取付け



5 照明取付部材の取付け

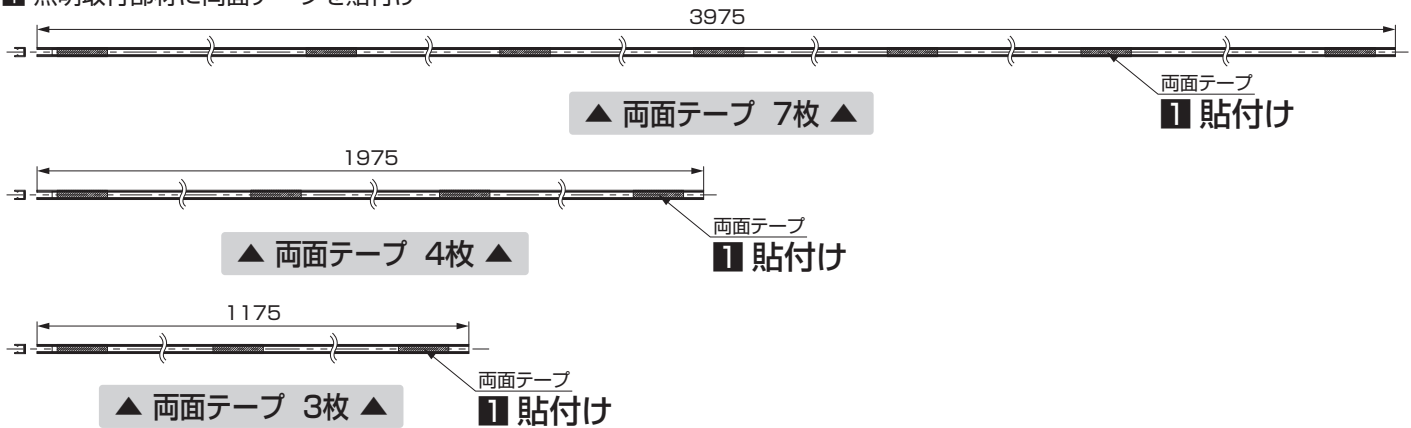
5-4 シームレスラインライトの取付け

5-4-1 照明取付部材への両面テープの貼付け

施工上のお願い

- 照明取付部材セットに同梱されている両面テープ(1枚)は、照明取付部材に取付ける以外で照明小口隠し部品にも使用します。無くさない様にしてください。
- 照明取付部材は電源ケーブル側に切り欠き加工した側を合わせて取付けてください。
- シームレスラインライトの取付け、または切詰めを行う場合は、シームレスラインライトの取付説明書(EXM-125)を参照してください。

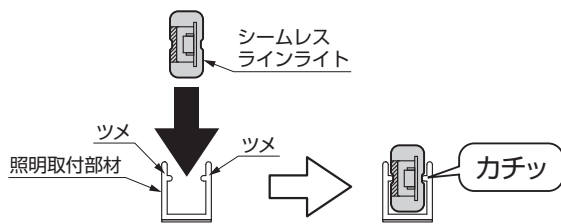
1 照明取付部材に両面テープを貼付け



5-4-2 シームレスラインライトの取付け

施工上のお願い

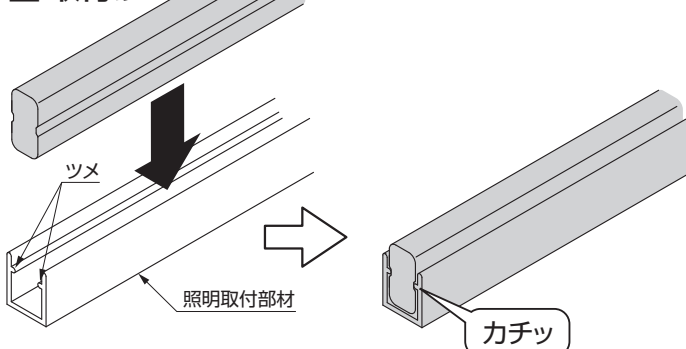
- 照明取付部材を平らな床、または作業台に置いてシームレスラインライトを取付けてください。シームレスラインライトを照明取付部材に取付ける際、無理やり取付けたり反らしたり曲げたりしないでください。シームレスラインライトが壊れて光らなくなります。
- シームレスラインライトを照明取付部材に取付ける時は、ゆっくりと上から指で押し込んでください。
- シームレスラインライトの溝が照明取付部材のツメに掛かるまでシームレスラインライトを押し込んでください。



1 シームレスラインライトを照明取付部材に取付け

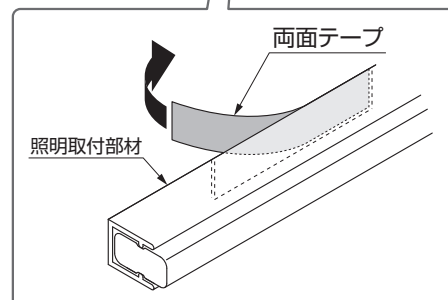
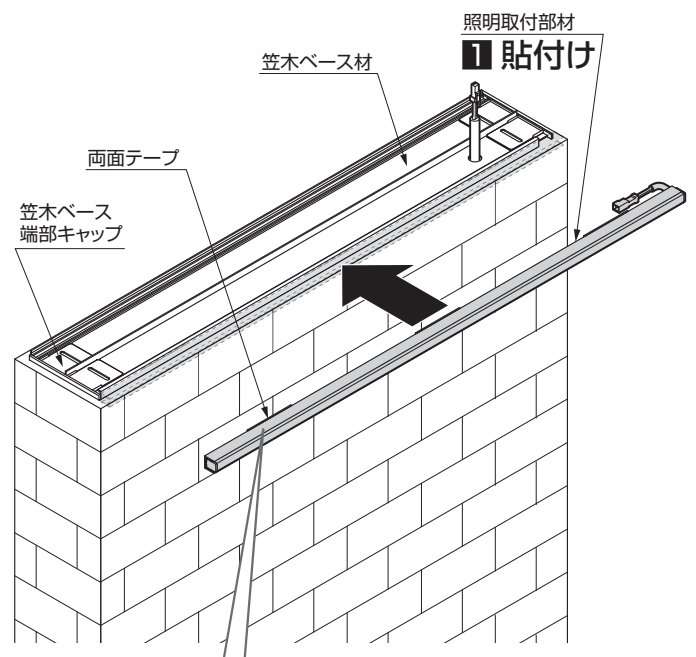
シームレス
ラインライト

1 取付け



5-4-3 照明取付部材の貼付け

1 照明取付部材を笠木ベース材に貼付け



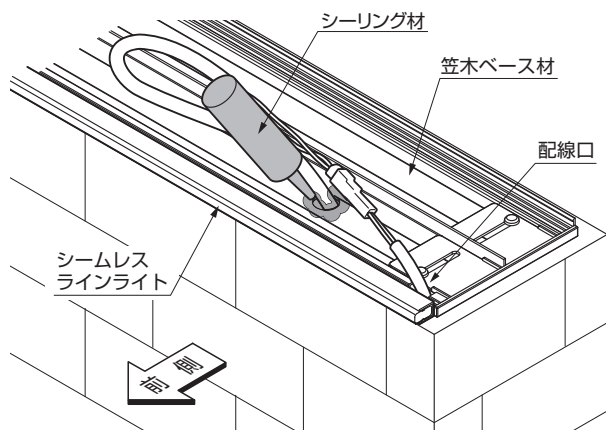
5 照明取付部材の取付け

5-4 シームレスラインライトの取付け

5-4-4 シームレスラインライトの配線

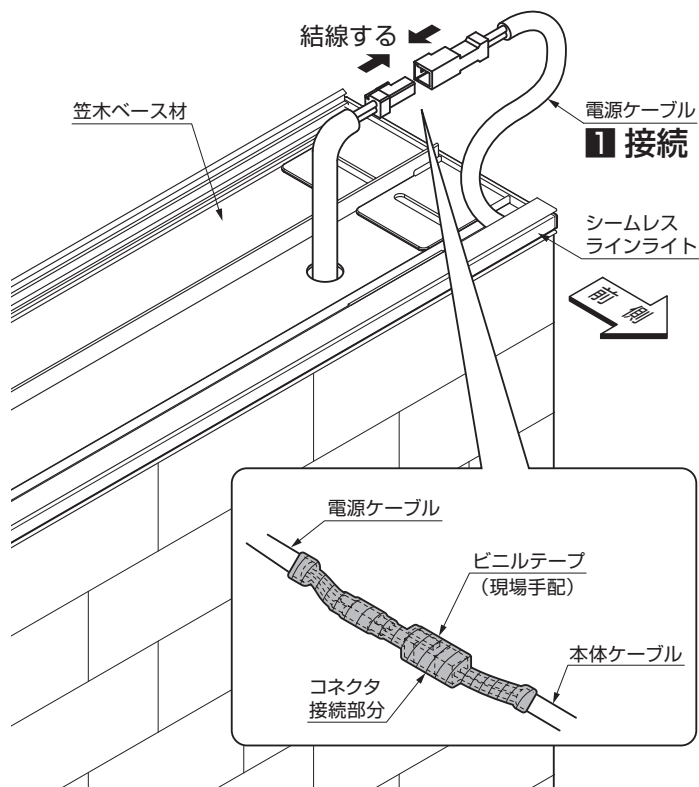
施工上のお願い

- シームレスラインライトの配線は笠木ベース材の配線口より引き込んでください。
- シームレスラインライトの本体のケーブルと電源ケーブルを接続後、笠木ベース材から出ている電源ケーブル周りにシーリング材を塗布してください。



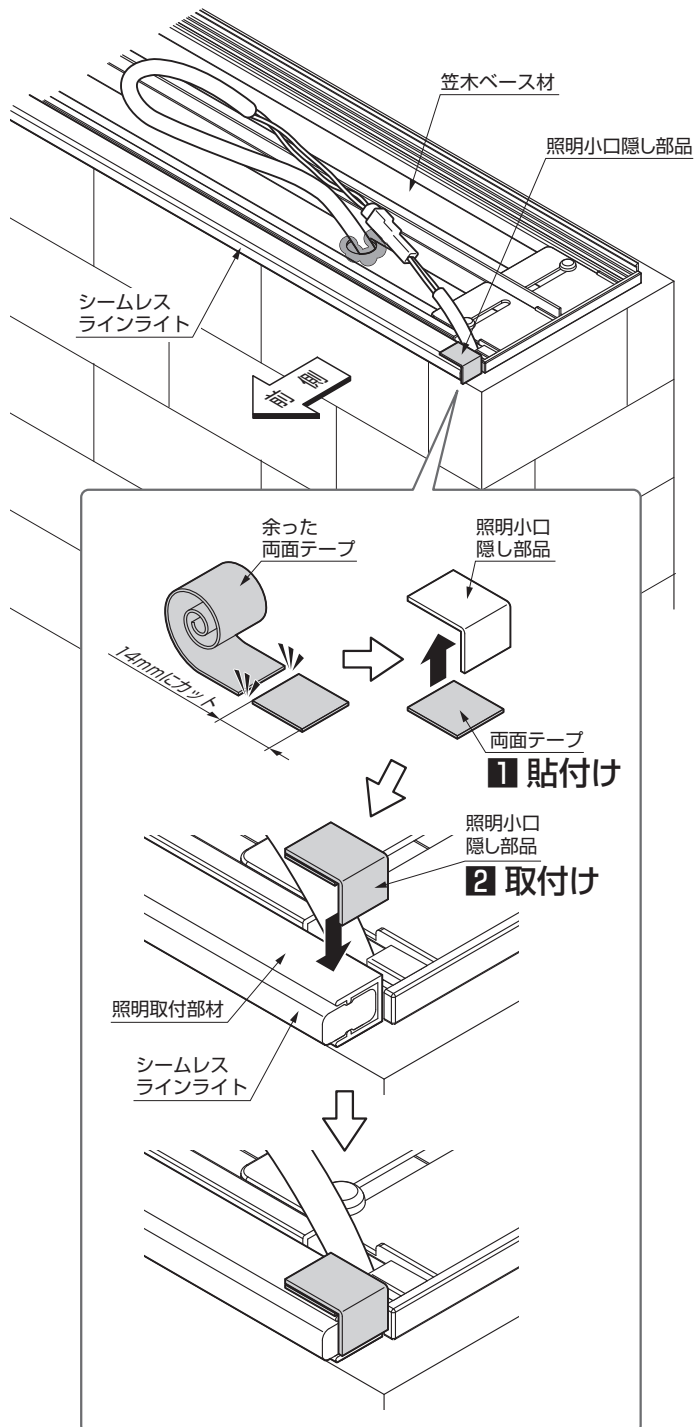
- シームレスラインライトの取付け、または切詰めをしたい場合はシームレスラインライトの取付説明書(EXM-125)を参照してください。

1 電源ケーブルをシームレスラインライト本体のケーブルと接続



5-4-5 照明小口隠し部品の取付け

- 1 余った両面テープ(1枚)を14mmにカットして照明小口隠し部品に貼付け
- 2 照明取付部材の左右の端部に照明小口隠し部品を取付け



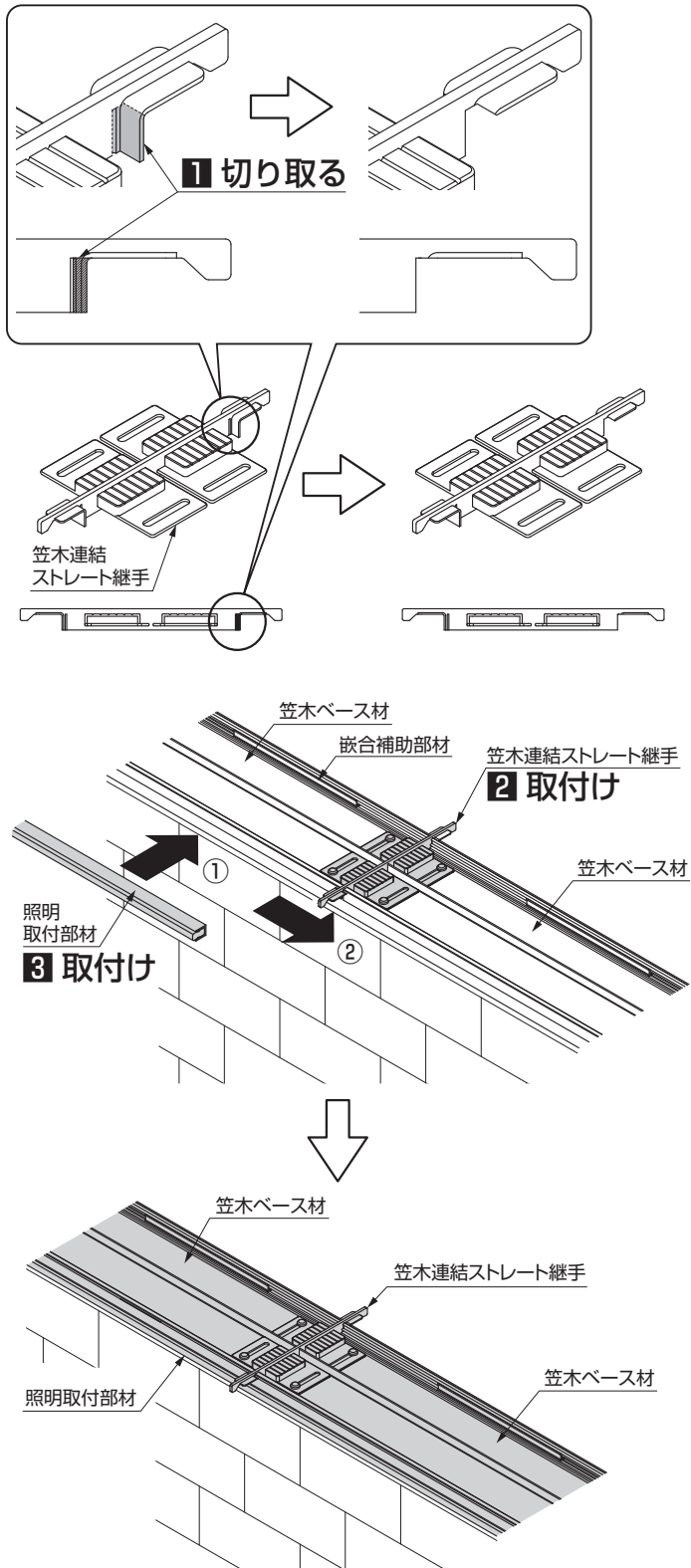
5 照明取付部材の取付け

5-5 笠木連結ストレート継手に照明取付部材を取付ける場合

施工上のお願い

- シームレスラインライトの取付け、配線は「**5-4** シームレスラインライトの取付け」を確認してください。

- 1 笠木連結ストレート継手片側のL型リブ凹み部分にカッター、またはニッパ等で切り込みを入れて切断して切り取る
- 2 笠木連結ストレート継手の切り欠きをした側を照明取付部材を取付ける側にして取付け
- 3 照明取付部材を連結ストレート継手を通してから笠木ベース材に取付け

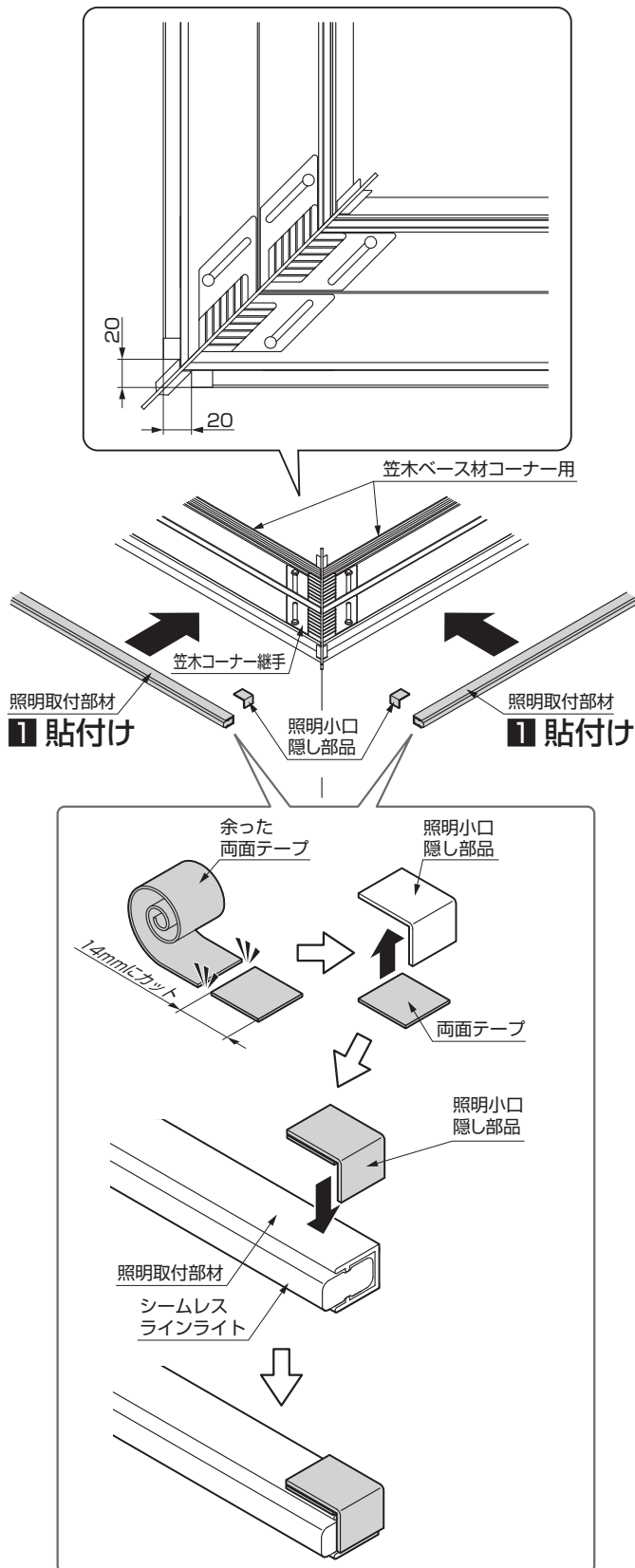


5-6 笠木コーナー継手に照明取付部材を取付ける場合

施工上のお願い

- (L・R)共、同じ作業になります。
- シームレスラインライトの取付け、配線、照明小口隠し部材の取付けは「**5-4** シームレスラインライトの取付け」を確認してください。

- 1 照明取付部材を壁から20mm(笠木コーナー継手のL字リブ)までの位置に合わせて笠木ベース材に貼付け

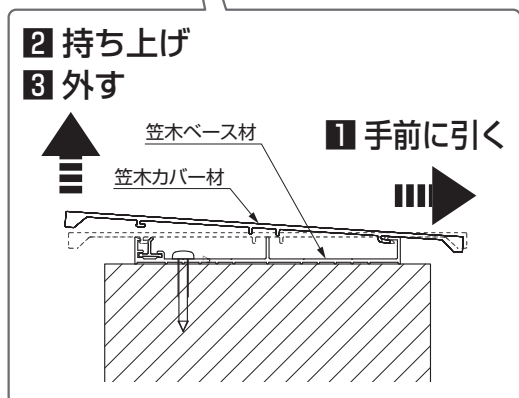
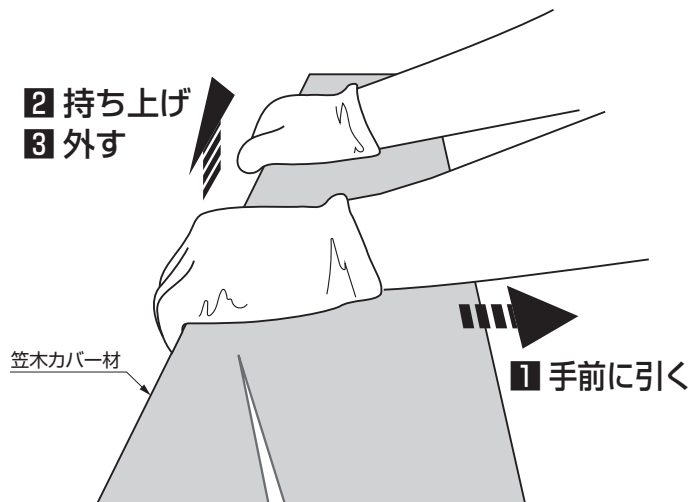


6 笠木カバー材の外し方（メンテナンス用）

施工上のお願い






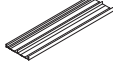

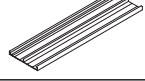


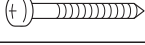

●笠木カバー材の嵌合部分がわからない場合は、端部側から外側・内側で手前に引いて笠木カバー材が笠木ベース材から外れるか確認してから作業を行ってください。

- 1 笠木カバー材の端部を手前に引く
- 2 笠木カバー材を手前に引いた反対側の笠木カバー材の側面を持ち上げ
- 3 笠木カバー材が笠木ベース材から外れたら、真ん中、端部と笠木カバー材を外す











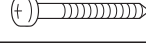



7 梱包明細表

【1】笠木

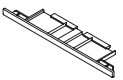
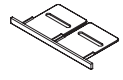
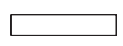
名 称	略 図	員 数		
		L12	L20	L40
笠木カバー 165		1	1	1
笠木カバー 185		1	1	1
笠木カバー 200		1	1	1
笠木カバー 240		1	1	1
笠木ベース165		1	1	1
笠木ベース185		1	1	1
笠木ベース200		1	1	1
笠木ベース240		1	1	1
嵌合補助部材		2	3	5
フィッシャープラグ(S6)		6	8	16
【1-a】 M4.5×38丸木ねじ		6	8	16
【1-b】 M5座金		6	8	16

【2】笠木コーナー

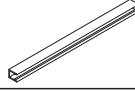

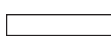
名 称	略 図	員 数
笠木カバー 165出隅コーナー		左右各 1
笠木カバー 185出隅コーナー		左右各 1
笠木カバー 200出隅コーナー		左右各 1
笠木カバー 240出隅コーナー		左右各 1
笠木ベース165出隅コーナー		左右各 1
笠木ベース185出隅コーナー		左右各 1
笠木ベース200出隅コーナー		左右各 1
笠木ベース240出隅コーナー		左右各 1
嵌合補助部材		6
フィッシャープラグ(S6)		16
【1-a】 M4.5×38丸木ねじ		16
【1-b】 M5座金		16

7 梱包明細表

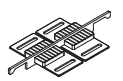
【3】笠木端部キャップ

名称	略図	員数			
		W165	W185	W200	W240
笠木カバー 端部キャップ		2	2	2	2
笠木ベース 端部キャップ		2	2	2	2
両面テープ L=50		2	2	2	2


【9】笠木照明取付部材

名称	略図	員数		
		L12	L20	L40
照明取付部材		1	1	1
照明小口隠し部品		2	2	2
両面テープ L=50		4	5	8

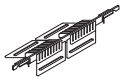
【4】笠木連結ストレート継手

名称	略図	員数			
		W165	W185	W200	W240
笠木連結 ストレート継手		1	1	1	1


【5】笠木連結ストレート継手カバー

名称	略図	員数			
		W165	W185	W200	W240
笠木連結 ストレート継手カバー		1	1	1	1

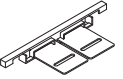
【6】笠木コーナー継手

名称	略図	員数			
		W165	W185	W200	W240
笠木 コーナー継手		1	1	1	1

【7】笠木コーナー継手カバー

名称	略図	員数			
		W165	W185	W200	W240
笠木 コーナー継手カバー		1	1	1	1

【8】笠木角継手

名称	略図	員数			
		W165	W185	W200	W240
笠木 角継手		1	1	1	1

取説コード

EXM-244

JZZ642507
202602_1049